

視点を変えてみたら、との思いで、生きもののお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○ ⑪

4月の草むらでナナホシテントウの幼虫と成虫とを一緒に見ました。テントウムシのイメージとして、春から初夏にかけて見るのはナナホシテントウ。冬に見るのは、集まって越冬しているナミテントウなのですが、どちらも普通にみられる昆虫のようです。ただ微妙に行動パターンが違って、人の目につく時期が違ってくるのでしょうか。春の草むらでナナホシテントウを見つけると、つい捕まえて指を這わせ、指先から飛び立つのを見て「天道虫だ！」って思うわけです。そう言えば、ナミテントウを指先から飛び立たせたことないなあ。やはり飛び立つのでしょうか？虫にとっては迷惑な話でしょうが、こんどナミテントウを見つけたらやってみましょう。

そういえば、ナナホシテントウもダンゴムシも小さい子ども達には人気ですよね。この形に人気の秘密があるのでしょうか？丸っこい背中という共通点。小さい子の柔らかな小さな指先でつまむには、ちょうどよい大きさなのかもしれません。<さんじゃく>



定例総会を6/25(日)に予定しています。

詳細は4ページをご覧ください。

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(向)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL : <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 72★

春日公園で、初夏を、ゆっくと観察します。

☆日時 5月21日 (日) 集合14時 ~ 解散16時

☆場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-tamura@nifty.com

福岡県自然環境課と一緒に実施します。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

5/21(日) 6/18(日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時間：9:00～12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

5/28(日) 6/25(日)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時間：9:00～12:00
集合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

6/4(日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時間：8:00～11:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

6/10(土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時間：9:00～12:00
集合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

6/11(日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時間：9:00～12:00
集合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6/6(火)
県営春日公園（春日市）
時間：10:00～12:00
集合：野外音楽堂ステージ前
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

日本野鳥の会 筑後支部 主催

福岡植物友の会 主催

5/14(日)
高良山（久留米市）
時間：9:00～12:00
集合：高良社下宮
問合せ：090-4357-3043（溝田泰博）

5/21(日)
川内峠・栗林慧昆虫館（平戸市）
参加は有料 要予約
問合せ：092-662-2983（佃昇）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

6/3（第1土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集合：九州歴史資料館駐車場
時間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永紀代子）
参加費：200円（大人のみ）

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きもの情報を載せています



サラサリナカ物虫の巣
（この中に「じゃうじ」がいる）コナラ 三国・松永



シロオビナカボソタマムシ 三国・松永



三沢遺跡自然観察リーフレット編集委員会
三国丘陵の自然を楽しむ会

和白干潟を守る会 主催

5/27(土)
守る会定例会議
時間：10:30～13:00
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

5/27(土)
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00～17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

久留米の自然を守る会 主催

5/21(日) 雨天中止
樹木の名札付けと豚汁会
時間：10:00～14:30
集合：高良山森林公園駐車場
参加費：100円
要申込 下記に電話で 定員60名
問合せ：0942-30-9165（5/19締め切り）
久留米市役所緑の里づくり推進課
持ち物：はし、茶碗、おわん、水筒
筆記具、帽子

2017年4月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、4月1日（旧暦3月5日）～4月30日（旧暦4月5日）までのデジカメ日誌です。



4月8日（旧暦3月12日）福岡市中央区福岡城址
在来種のカンサイタンポポ。総苞片はほっそりとしていて
反り返らないことですぐ解る。セイヨウと違って、昆虫の助
けがないと子孫は作れない。もっと大切にしたい花だ。



4月20日（旧暦3月24日）筑紫野市武蔵天拝山頂
天拝山頂展望台の方位板の上を、ゆらゆら揺れながらゆ
っくり歩いていた。触覚が短く、足は斑模様。ナナフシモド
キの幼虫である。



4月24日（旧暦3月28日）筑紫野市山口
久しぶりにハナイカダに出会った。雌花である。林道の法
面が少し崩れかかっている、傾いている。早く実をつけて
仲間を増やせ。



4月14日（旧暦3月18日）筑紫野市天拝坂
実生したコナラの細い幹から、見つめられた気がして気付
いた。ガの仲間がへばりついていて。こういう模様が顔に
見えたりすることをシュミラクラ現象というらしい。



4月22日（旧暦3月26日）小都市三沢九州歴史資料館
砂利引きの駐車場で激しく鳴いているコチドリを観た。此
処は、資料館が立つ前に、同じような砂利の広場で、イカ
ルチドリも営巣した場所である。今は車も多いし、どうなる
ことか。



4月30日（旧暦4月5日）筑紫野市天拝坂
2年ぶりにスズメが自宅に営巣した。2羽が2階の北側の雨どい
と瓦の間を、盛んに入り出している。彼等は人間を利用するだ
けと決めているようで、私に対する警戒心は緩めない。

くすのき 2017年5月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会



桜が満開になった頃、風雨激しい日が続き山の中腹や稜線近くでヤマザクラと思われるスポットがほの白く、あちこちにはっきりと見えていましたが、撮影チャンスを逃したようです。今後も見られるかどうか。

足元は、花びら通りとなった日(4/12)の一枚。

水浴びの音が、常とは違っているのでのぞいて

見ると、狭い水盤のなかに4羽が押し合いへし合いしながらの行水です。こんな有様は始めてだったので、デジカメを構えたとたん、ガラス越しなのに素早く逃げられてしまいました。

その後戻って来た彼ら？アトリの様です。(ダムサイト住人 2017/4/30 記)



定例総会を6/25(日)に予定しています。

◆2017年度 定例総会

今年度の福岡県自然観察指導員連絡協議会・定例総会を、下記の日程で開催いたします。会員の皆さん、ご参加をお願いいたします。

◇日時 6月25日(日) 13時30分～15時30分

※午前中(10時から12時まで)は、春日公園内にて自然かんさつ会
集合は、旧売店 前です。こちらにも是非ご参加下さい。

◇場所 春日公園・旧公園管理センター 2階 会議室
【春日市原町3・JR九州鹿児島線 春日駅から徒歩15分】

- 【議題】
- ・2016年度の活動報告と決算案について
 - ・2017年度の活動計画と予算案について
 - ・その他

◇連絡先

担当：田村 耕作 TEL：092-400-1765 [FAX兼用]



最近感動したダンゴ状態のエナガ(田村)

都市公園で自然観察会 71回 参加者 15名

H29年4月16日(日)

テーマ：苔の仲間を見る 指導と助言は角正博氏

報告：田村

にぎやかな観察会でした。天気もよく、楽しい時をすごせました。今回は、この公園で最も大きいくすのきの大木を中心に観察を始めました。このくすのきの樹皮のみで、7種をみんなで観察できました。また、葉の上に生息する地衣類を教えてもらいました。南方系で寿命は1年程度とのことでした。

苔類などの種類は、前回(明るい樹林)より地衣類や蘚苔類(コケ)にとって厳しい環境であり、2~3割少ない種類数でした。ほんの小さな区域で、2時間あまり、木の表面、地面に顔を近づけて、コケ類など22種類を楽しみました。参加者の感想です。

- ・ あの小さなエリアにあんなにあるんだ、楽しい世界でした。
- ・ この小さな世界でも、せめぎあっていることがわかった。
- ・ 地衣類が気になり、目に付くようになった。
- ・ 大変勉強になった。
- ・ コケの世界にもムカゴの仕組みがあることがわかった。ミクロの世界に驚きがあった。
- ・ 見る目線に違いがあることがわかった。
- ・ かわいいコケ、いっぱいあることに気がついた。
- ・ うすい緑がかわいかった。
- ・ コバノアオキノリ、ランソウ類を育てる地衣類であり、環境の悪化に最初に消える地衣類という解説が印象に残った。



この公園でもっとも大きいくすのきで観察、7種見かけた。



かわいいヒナノハイゴケ



びっくりした葉上地衣類の存在

苔の撮影に関して、角氏からの助言をお知らせします。

コケ画像は、茎や葉が小さいからといって、拡大すれば特徴が表れるものではありません。種類によっては群落の方が特徴や雰囲気を与えられるものがあります。観察会で利用するための画像としては、今回の観察で、田村の撮影画像を見ていただき、助言をもらいました。7番目コバノチョウチンゴケは、少し引いて群落の画像を撮影した方が、特徴が出やすいと思われます。

13番目コフキチリナリアも少し引いて、(1)地衣体中央部の丸い粉芽塊と、(2)地衣体辺縁部の基物に圧着する裂片という二つの特徴がよくわかるようにすると、観察会で利用しやすい画像となると思います。

14番目コバノアオキノリも特徴である小さな裂片がよくわかる画像にすると、種の紹介で使いやすくなると思います。

15番目ラセンゴケも、少し引いて、群落に重点をおいて、(1)犬の尻尾状に曲がる枝や、(2)細く鞭状の枝が混在する姿がわかる画像の方が使いやすくなります。

16番目ミノゴケは、(1)胞子体の長い毛の帽と(2)丸く巻縮する枝の特徴はよく撮れていますが、もう少し引いて群落の姿がわかるようにした方が使いやすくなります。

